

## 京都市中央食肉市場運営方針の進捗状況

## 1 運営方針について

## (1) 期 間

令和3年度～令和5年度の3年間

## (2) 重点目標及び全体指標

## 【4つの重点目標】

- (1) 京の食文化を支える市場機能の強化
- (2) 持続可能な市場運営の実現
- (3) 輸出拡大の推進
- (4) 安全・安心な食肉供給の徹底

## 【全体指標】

牛・豚の集荷頭数

(単位：頭)

	3年度	3年度実績	4年度	5年度
牛	11,000	11,901	11,200	11,400
豚	17,500	17,278	17,500	17,500

※ 3年度実績は、2月末現在の数値。

## 2 取組事項と個別指標

### (1) 京の食文化を支える市場機能の強化

100年以上の歴史ある食肉市場の特性をいかし、京の食文化を支える市場としての取組を推進する。

#### 【取組事項】

##### ア 「京都食肉市場ブランド」の振興

食肉市場経由品を「京都食肉市場ブランド」としてPRし、安全・安心・高品質で美味しいお肉であることを消費者に認知してもらい、消費拡大を図る。

- 卸売会社・売買参加者と連携したPR
- ・SNSを活用した「京都食肉市場ブランド」のPR

- **【個別指標1】**.....「京都食肉市場ブランド」アカウントフォロワー数  
(2年度：2月にアカウント開設⇒5年度：5,000)

#### 令和3年度実績（2月末時点）

##### (1) アカウントフォロワー数

Twitter 3,832人（4月）

Instagram 173人（2月）

##### (2) 投稿内容

店舗紹介 67店

市場紹介 13回

京都食肉市場株式会社ホルモンカレー  
の販売キャンペーンを実施



ロゴマーク



#### 【取組事項】

##### イ 食肉の川上（生産）から川下（消費）までを繋ぐ情報発信，関係構築

全国から良質な牛の集荷を図る。また，市場の役割と命をいただくことの大切さを広く消費者に理解してもらう。

- 卸売会社と連携した生産者や小売事業者等への出荷・購買促進
- 施設見学等を通じた食育，食品ロス及び市場の役割の普及啓発

- **【個別指標2】**.....市場見学者数（元年度：176⇒5年度：300）

#### 令和3年度実績（2月末時点）

市場見学者数 44人

※ 緊急事態宣言及びまん延防止措置期間中は，見学を中止。

### 【取組事項】

#### ウ 府内の畜産振興

府内産の牛・豚の畜産振興を図ることにより、食肉市場への安定した集荷と地産地消を進める。

- 府内産畜産ブランド「京都肉」, 「京都ぽーく」等のPR
  - ・ふるさと納税や各種イベント等の機会を活用した普及促進
- 京都府と連携した府内の畜産振興
  - ・京都府農林水産物・加工品輸出促進協議会 和牛部会への参画
  - ・PRイベントへの開催協力

#### 府内産畜産ブランド「京都肉」, 「京都ぽーく」等のPR

1/8～3/18 第13回京都レストランウインタースペシャル2022

「京都肉」, 「京都ぽーく」を使用した特別メニューを提供

### 【取組事項】

#### エ 大学との連携による市場の活性化

大学の英知や学生の発想力を活かして、市場取引の活性化や食肉の消費拡大に取り組む。

- 大学への教育・研究活動への協力
  - ・学生を対象とした施設見学会の実施
  - ・市場の役割や流通に係る講義
- 市場の活性化や食肉の消費拡大への取組を連携して実施
  - ・SNSを活用した「京都食肉市場ブランド」のPR [再掲]

➤ **【個別指標3】**.....連携した取組を実施した大学数（元年度：2⇒5年度：5）

#### 立命館大学食マネジメント学部での講義

「食肉の流通における中央市場の役割」

5/26 1回生対象（Zoomで実施）

11/5 2回生対象



11/5 びわこ・くさつキャンパス

## (2) 持続可能な市場運営の実現

市民に安定的に食肉を供給するために、持続可能な市場運営を実現する。

### 【取組事項】

ア 卸売会社の経営安定化	
卸売会社の経営の安定化を図ることで、食肉を安定的に供給する体制を構築する。	
<input type="checkbox"/>	「京都食肉市場ブランド」のPR等を通じた牛の集荷増頭
<input type="checkbox"/>	卸売会社との定期的な会議による経営計画の進捗管理
<input type="checkbox"/>	財務検査等を通じた経営指導

### ➤ 【個別指標4】 牛の集荷頭数（5年度：牛11,400頭、豚17,500頭） [再掲]

令和3年度実績（2月末時点） 牛の集荷頭数：11,901頭、豚の集荷頭数：17,278頭
---

### 【取組事項】

イ 効率的、効果的な市場運営	
効率的、効果的な市場運営により、市場財政の改善を図る。	
<input type="checkbox"/>	市が実施している市場運営への民間企業のノウハウの導入を検討
<input type="checkbox"/>	市への提出書類等のデジタル化の推進
<input type="checkbox"/>	再整備工事に伴う余剰地の売却を含めた有効な活用

### ➤ 【個別指標5】 市への提出書類等のデジタル化比率 (2年度：紙文書89種類⇒5年度：80%以上を電子化)

令和3年度実績（2月末時点） デジタル化比率：55%
-------------------------------

### (3) 輸出拡大の推進

国による農畜産物輸出拡大政策が進められている中、中央卸売市場では全国で初となる欧米向けの輸出認定を取得したアドバンテージを活かして牛肉の輸出拡大を進めることで、市場取引の活性化を図るとともに、京の食文化を世界へ発信する。

#### 【取組事項】

ア 輸出促進のための効果的なプロモーション	
京都のブランド力をいかしたPRを行い、牛肉の輸出拡大を図る。	
<input type="checkbox"/>	市内事業者との海外バイヤー向け展示会への出展 ・府補助金を活用した展示会（オンライン含む）への出展や海外への情報発信
<input type="checkbox"/>	京都府と連携した府内産和牛「Kyoto Beef 雅」のPR ・府補助金を活用した展示会（オンライン含む）への出展や海外への情報発信〔再掲〕 ・京都府農林水産物・加工品輸出促進協議会 和牛部会への参画〔再掲〕

市内事業者との海外バイヤー向け展示会への出展  
11/17～19 第5回“日本の食品”輸出 EXPO に出展




#### 【取組事項】

イ 輸出の取組を通じた牛の集荷増頭	
輸出の取組を進めることで市場取引の活性化を図り、良質な牛を全国から集荷する。	
<input type="checkbox"/>	海外や売買参加者のニーズに応じた戦略的な輸出認定の取得
<input type="checkbox"/>	欧米向けに輸出ができる全国初の中央食肉市場であるアドバンテージを活かした牛の集荷増頭

#### ➤ 【個別指標6】.....牛の輸出重量・頭数

.....(元年度：12,681kg, 68頭⇒5年度：50,000kg, 500頭).....

令和3年度実績（2月末時点）
牛の輸出重量：93,062kg, 895頭（重複なし794頭）
※ 一つの枝肉を複数国へ輸出した場合は、頭数を重複してカウント

➤ **【個別指標7】** 牛の集荷頭数（5年度：牛11,400頭、豚17,500頭） [再掲]

令和3年度実績（2月末時点）

牛の集荷頭数：11,901頭、豚の集荷頭数：17,278頭

「京都市中央食肉市場コンソーシアム」の設立及び事業の実施

(1) 国の事業名

畜産物輸出コンソーシアム推進対策事業

（輸出促進を図る体制を産地ごとに構築する  
取組を支援する）

(2) 交付額 77,696千円（11/2交付決定）

(3) 設立時期 令和3年9月27日

(4) 構成員

・生産者

（京都市場へ出荷する生産者）

・輸出事業者

（京都府食肉事業協同組合連合会

京都食肉買参事業協同組合

・食肉処理施設

（京都食肉市場株式会社、京都市）

(5) 事業内容

・プロモーション活動

・頭絡の普及及び血斑低減のための取組



【頭絡の普及】

アニマルウェルフェアに  
配慮して、鼻輪から頭絡に  
変更する。



【血斑低減】

枝肉の肉質低下につな  
がる血斑（血のシミ）の発  
生を抑制する。

#### (4) 安全・安心な食肉供給の徹底

市民に安全・安心な食肉を供給するため、衛生管理を徹底するとともに、災害や家畜伝染病、感染症等の発生時でも安定した食肉が供給できる体制を構築する。

##### 【取組事項】

ア 徹底した衛生管理のもと、高い技術力で生産された食肉の供給 高水準の衛生管理が必要なアメリカ・EU向けの輸出認定を維持するとともに、高品質な食肉の安定供給に取り組む。	
<input type="checkbox"/>	高水準の衛生・品質管理を実現できる施設の維持・管理
<input type="checkbox"/>	牛HACCPの運用及び豚HACCPの導入・運用 ・場内関係者とのHACCP会議の実施
<input type="checkbox"/>	牛枝肉の瑕疵発生を抑制するための国の取組との連携

##### ➤ 【個別指標8】 豚HACCPの導入・運用（3年度：導入，運用）

令和3年6月1日から導入・運用を開始。

##### 【取組事項】

イ 災害，家畜伝染病，感染症等の発生時の安定した食肉の供給 災害等の発生時に，食肉の安定供給への影響を最小限に抑える体制を構築する。	
<input type="checkbox"/>	業務継続計画（BCP）の策定及び定期的な訓練の実施
<input type="checkbox"/>	大阪市場，神戸市場との災害発生時における相互協力に係る協定の締結

##### ➤ 【個別指標9】 大阪市場，神戸市場との協定締結（3年度：協定締結）

協定締結に向けて協議中。